

道路整備の強力な推進

令和元年 1 1 月

【担当省庁】国土交通省

企業立地に資する道路整備の強化

(これまでの取り組み)

奈良は企業立地環境の整備に遅れ → **近年は企業立地増加傾向**

(京奈和道沿線が58%)

これらは**京奈和自動車道等の整備促進**と将来の期待への反映

企業立地の潜在力を高めるため、京奈和自動車道に接続する**幹線道路等の整備**
(国・高速道路会社)

- ① **名阪国道の抜本的見直し** (企業立地や定時性、交通安全の確保)
- ② **第二阪奈と京奈和自動車道の連結** (物流ネットワークの強化)

(県・市町村) ⇒ **社会資本整備総合交付金による重点支援**

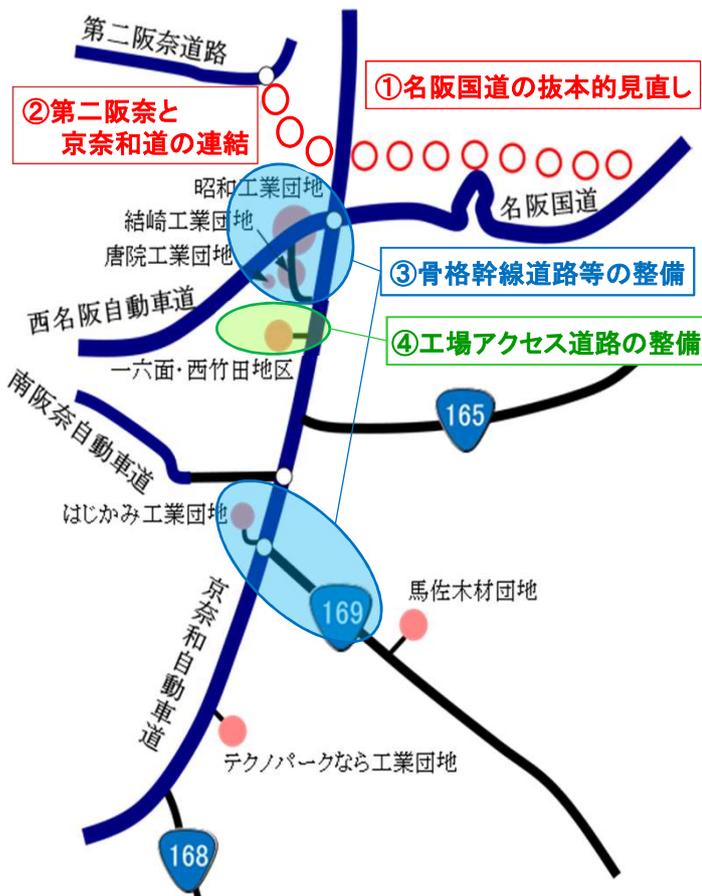
- ③ **骨格幹線道路等の整備** (工業団地等の拠点への通勤や業務移動の円滑化)

例:国道169号高取ノミイパス、県道結崎田原本線、県道橿原新庄線 等

- ④ **工場アクセス道路の整備** (搬入・搬出等の強化)

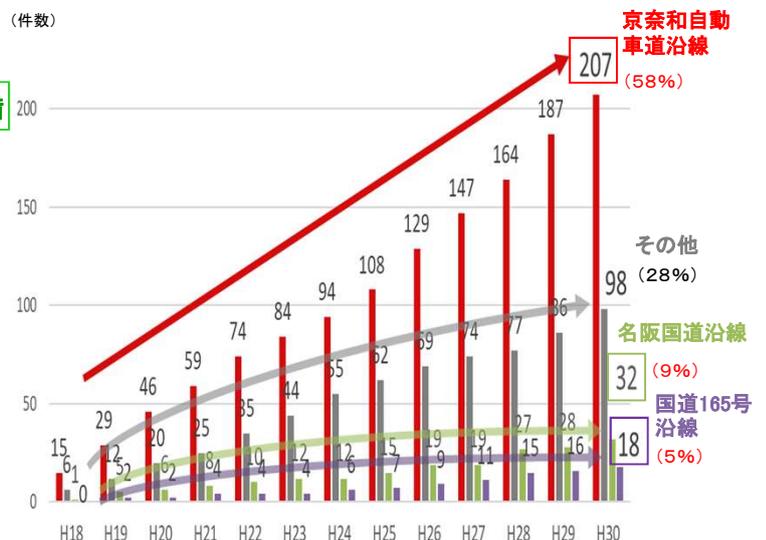
例:町道西竹田満田線(田原本町) 等

整備イメージ



県内の企業立地件数 (H18年以降累計・沿線市町村別)

H18~H30の県内企業立地 合計355件

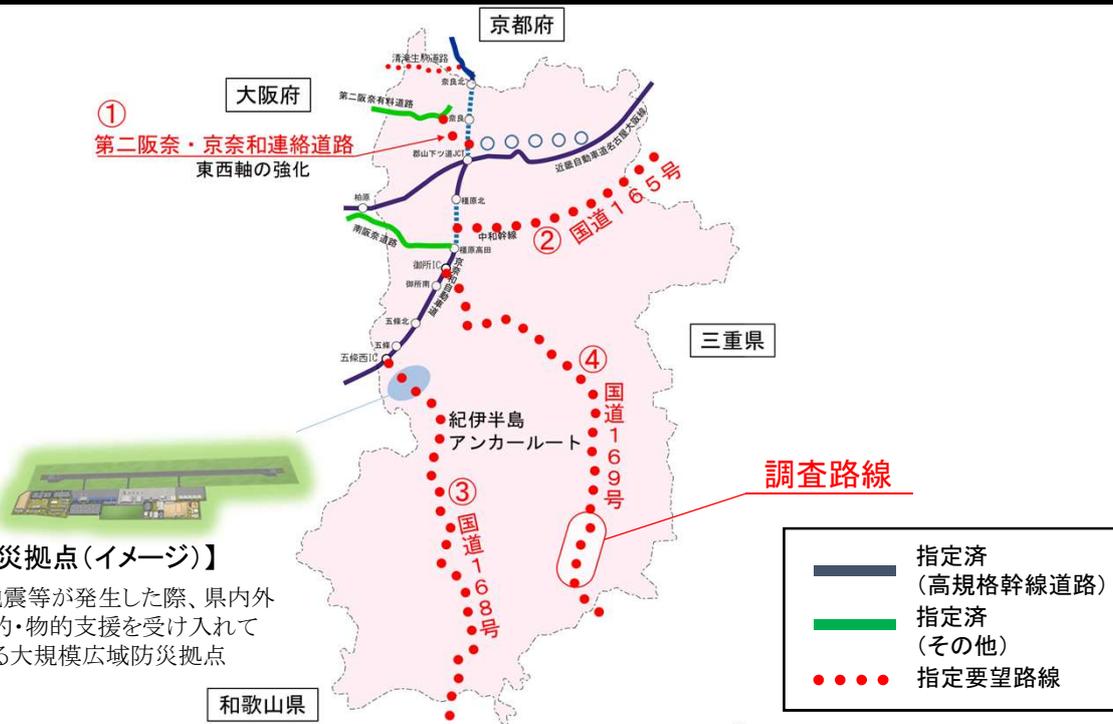


工場立地動向調査(経済産業省)より作成 奈良市・天理市の工場立地は住所で沿線を判断

重要物流道路の追加指定

ネットワークの強化及び補助事業による重点整備のため、下記の路線を追加指定

- ① 第二阪奈・京奈和連絡道路（東西軸の強化）
- ② 国道165号（企業立地支援）
- ③ 国道168号（紀伊半島アンカールート、大規模広域防災拠点へのアクセス）
- ④ 国道169号（紀伊半島アンカールート）



老朽化対策の着実な推進

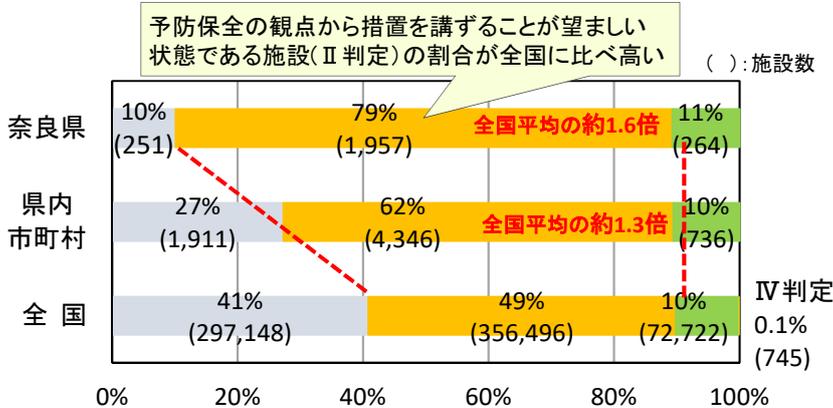
1巡目点検(H26~H30)を踏まえ、早期に措置を講ずべき状態である施設(Ⅲ判定)の速やかな修繕(H30~R4)が必要

将来的な予算総額を抑制するために、予防保全型※への移行も重要

⇒ さらなる重点的な予算の確保

※不具合が生じる前に対策を講じること

道路施設(橋梁・トンネル)点検結果(H26~H30)



■ I : 構造物の機能に支障が生じていない状態。
■ II : 予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい状態
■ III : 早期に措置を講ずべき状態
■ IV : 緊急に措置を講ずべき状態

老朽化対策費の推移

